
沼津情報・ビジネス専門学校のカリキュラムポリシー

沼津情報・ビジネス専門学校は、卒業認定および高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）を踏まえ、開設する授業科目の体系化を図り、整合性を確保した教育課程を編成する。また、各授業科目については、目的、教育内容と方法、学修成果の評価基準をシラバスにより明示し、学生が主体的に学ぶことができる内容とする。さらに、各分野において企業委員からの意見を聴取する「教育課程編成委員会」を毎年2回以上実施し、より実践的な職業に必要な知識・技能を習得できるよう、カリキュラムの定期的な見直しを行う。

こども保育科のカリキュラムポリシー

こども保育科は、沼津情報・ビジネス専門学校の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）のもと、卒業認定・高度専門士/専門士授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる人材を育成するために、1年次の一般科目・保育の基礎的な科目、2年次の観察実習・保育の本質的な科目、3年次の責任実習・保育の総合的な授業科目を中心に、3年間で基礎から応用までを習得するため講義・演習をバランスよく配置した教育課程を体系的に編成する。

【1年次】

保育・幼児教育の基礎知識を身に付けるため、「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」「教育原理」「教職概論」など、保育の本質や保育内容に関する学習を行う。表現系科目では、保育教材や遊び、音楽の基礎を学び、3年間を通して段階的に先生力の土台となるスキルを高めていく。音楽では個々のレベルに合わせてピアノ実技を磨き、一般科目では、「キャリア教育Ⅰ」や「社会人スキル基礎」を通して、社会人として必要な基礎力を身に付ける。実習系科目では、「実習指導Ⅰ」において、保育園と幼稚園の違いや手遊び、記録の取り方など、実習に向けての基礎的な学びを行い、さらには「保育園見学」「幼稚園見学」で実際に園を訪問し、一日の流れやこどもの姿、保育者の役割を観察し、先生力の基礎となる“こどもを見る力”を養う。

【2年次】

1年次の学習を基礎として、さらに専門的な保育科目を履修し、先生力を深める段階に入る。「保育原理」「こども家庭福祉」「乳児保育Ⅰ」「保育の心理学」など、保育者に必要な知識と技能を体系的に学ぶ。表現系科目では、「教材開発研究」や「遊びの応用」に取り組み、音楽ではピアノの弾き歌いを通して保育現場で必要な表現力を高め、実習系科目では、「実習指導Ⅱ」にて1年次の実習の振り返り、自己課題を明確にしながら、次の実習に向けた準備を進めていく。6月には

保育実習Ⅰ（保育所）、10月には保育実習Ⅰ（施設）の観察実習を行い、現場を体験する中で、保育所以外にも多様な児童福祉施設があることを知り、先生力の柱となる“幅広い視野”を育てていく。

【3年次】

3年次は、これまでの学びの集大成として、より実践的な学びに取り組み、現場で通用する先生力を総合的に身につける段階となる。ICT系科目では「保育現場とICT」「こどもとICT」、食育系科目やリスクマネジメント系科目では安全管理や危機対応力を身につけるなど、現場で求められる力を習得。

表現系科目では、教材、遊び、音楽などの活動を自ら構成し、状況に応じた援助や表現方法を選択することで、“自ら考え実践できる先生力”を育てていく。実習系科目では、保育実習Ⅱ、教育実習②での責任実習を経験し、保育者として主体的にこどもに向き合う力を高める。実習後は「実習指導Ⅲ」や「保育・教職実践演習」で振り返りを行い、学びの深化や現場で役立つ実践例の共有を行う。また、「実習指導Ⅲ」や「保育・教職実践演習」において振り返りを行い、学びの深化や就職後を見据えた実践例の共有を進めていく。後期には、3年間の学びの総まとめとして「卒業制作」に取り組み、テーマ設定から制作・発表までの過程を通して、課題解決力や学び続ける姿勢といった先生力の核心を育成する。
